

MULTI-ASPECT THINKINGのすすめ

今回、京都大学デザイン学ユニットが主催する、
デザインワークショップのイベント「デザインのチカラ」では、
いまだ単独の学問では解決されていない難問に
立ち向かいます。例えばそれは、「ゴミ袋をつつく、
カラス問題」について。

そんな市井の問題をテーマに、
越前屋俵太氏をモデレータに迎え、
情報学、工学、教育心理、経営などの
専門的な立場から知見を結集させ、
たった数時間でソリューションを
出せるのか、挑戦します。
それは、身近な「発見」から
広がる、壮大なロマン漂う
試み。そして、まさに
「デザインのチカラ」を
問うイベントです。

プレゼンター

工学研究科 教授

松原 厚

教育学研究科 准教授

野村 理朗

情報学研究科 特定准教授

大島 裕明

モデレータ

越前屋 俵太

デザインのチカラ

Vol.1



主催：京都大学デザインスクール
協賛：デザインイノベーションコンソーシアム

2016年8月11日(THU)

開始：14:00～17:00 (受付：13:00～) / 定員60名 / 参加費：無料
※お申込みは右記URLまたはQRコードより <http://peatix.com/event/180141/>
会場：京都大学デザイン学ユニット・デザインファブリケーション拠点・58番最北
※アクセスの詳細は右記URLまたはQRコードより <http://www.design.kyoto-u.ac.jp/access/>
対象：デザイン学履修生、デザインイノベーションコンソーシアム会員、その他

お申込み



アクセス

